

## 李下に冠を正さず

春に咲いた李(れい)の実がなるのは6月です。李の実は桃よりも小さく、赤紫色のものはひどく酸っぱいので「酢桃」の名が付けられました。その李の木の下を通るとき、ちょっと手をあげて冠を直したりすると、李の実を盗むのではないかという誤解を招きかねません。「李下に冠を正さず」はそうした疑いをかけられやすい行為は始めからするなという戒めの言葉です。徳富蘆花の自伝的長編『思出の記』にも学生のあるころ、梅の実を時々盗みにいったことを「時々李下に冠を正した」と記してあります。「李下に冠を正さず」は、「瓜田(かでん)に履(く)を納れず」と一対の成句で、中国の漢詩文集『文選』が出典です。「瓜田に履」は瓜畑で靴を履き直すなという「李下の冠」と同様の教訓です。また「李下に溪径(けいけい)無し」は李の木にこっそり盗みができるような隠れた小道はないという意味で、立派なリーダーのもとでは不正が行われないことのたとえに用いられます。地域のリーダーとしての役割が求められる金商生に覚えてほしい言葉です。

旧図書館の中庭に、地球上最古の花木といわれている木蓮の木がありました。歴史ある金商高校に学ぶみなさんが、心も知識も大きく美しく成長することを願って、図書館だより「木蓮(もくれん)」をお届けします。

## 新着雑誌

### 『オレンジページ』

#### オレンジページ

●クッキング、生活、健康に関する誌生活情報誌です。

### 図書委員がすすめる

## 読んで得するテッパン本

### 『少女』 湊かなえ著

親友の自殺を目撃したことがあるという転校生の告白を自慢のように感じた由紀は、死体ではなく人が死ぬ瞬間を見たいと思う。高校2年生の2人の少女が、死の瞬間に立ち会うために過ごす衝撃的な夏休みとは。(34H)

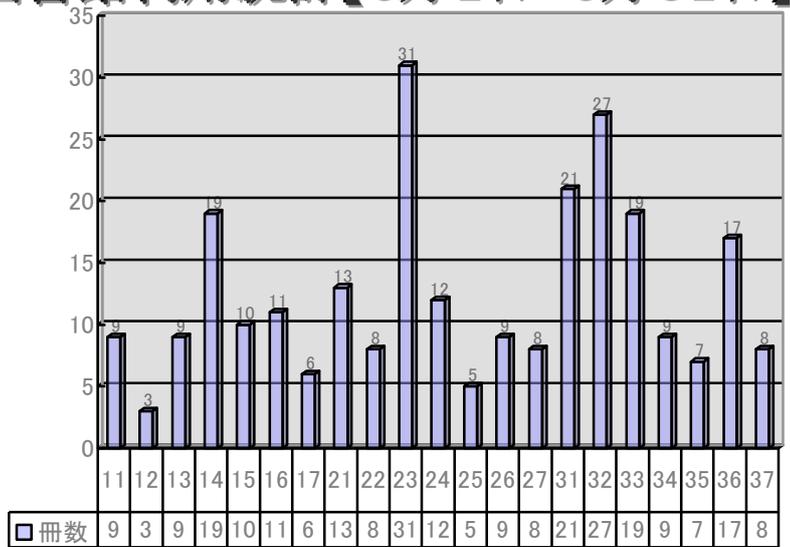
### 『永遠の0』 百田尚樹著

「娘に会うまでは死ねない、妻との約束を守るために」と言い続けた男はなぜ自ら零戦乗り命を落としたのか。生きたいと思わせる本。とても感動しました。(34H)

### 『ハリーポッターシリーズ』J.K.ローリング著

イギリスを舞台に、魔法使いの少年の学校生活や、強大な闇の魔法使いとの因縁と戦いを描いた物語です。空が飛べたり、スリルがあったりしてワクワクします！(35H)

## 図書館利用統計【5月1日~5月31日】



5月の貸し出し総数は261冊でした。開館日数は17日で、1日平均にすると約15冊の貸し出しです。学年別では3年生が108冊、2年生が86冊で、1年生は67冊でした。入館者の総数は2,197人で、1日平均約129人の利用でした。図書館での授業は7時間ありました。5月の貸し出し数が減り、入館者が増えたのは考査の関係だと考えられます。6月のギャラリー展示は進路に関する図書です。進路について、悩み迷い惑うとき、参考にしてほしいと思います。

## ありがとう

図書の寄贈がありました！  
\*一ツ橋文芸教育振興会様より『集英社文庫 100冊』  
\*株川村様より『北国新聞縮刷版 2・3月号』

## お知らせ

- ★6月19日(金)放課後、図書館文化講話「POPのチカラ」を開催します！誰でも参加できます！希望者は図書館まで！
- ★6月11日(木)に予定していた選書会は7月3日(金)放課後に変更になりました！希望者は図書館まで！